

## 沿岸各地の水温

(9月26～30日)

日本海 20℃台  
陸奥湾 20～21℃台  
津軽海峡 18～22℃台  
太平洋 17～18℃台

今回は各地で降温し、平均前回差は-3.0 となっています。

昨年と比べると、日本海側で-2.1度、津軽海峡側で-1.6度、陸奥湾内で-1.1度、太平洋で-1.7度となっており、平均昨年差は-1.5度でした。

平年と比べると、太平洋、津軽海峡でやや低め、日本海、陸奥湾では平年並みとなっています。

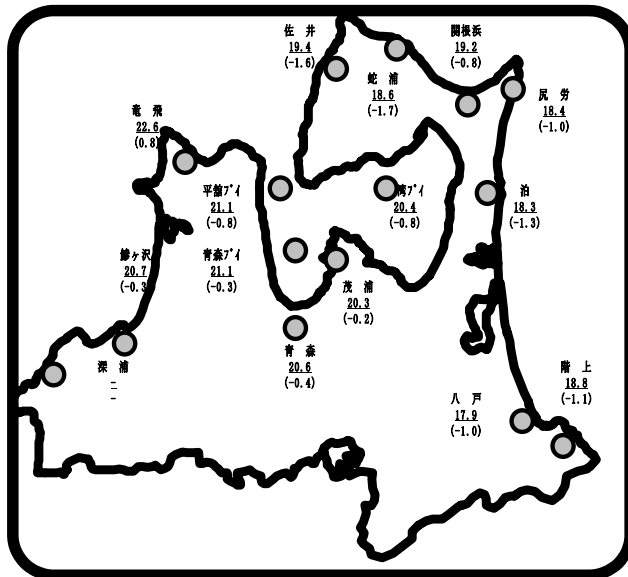


図 定地水温 (9月26～30日)  
平均値 (平年差) ブイ 1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深 浦	-	-	-	-
鱒ヶ沢	20.7	-0.3	-2.1	-3.1
竜 飛	22.6	+0.8	-0.2	-0.9
佐 井	19.4	-1.6	-2.2	-3.3
青 森	20.6	-0.4	-1.2	-2.3
蛇 浦	18.6	-1.7	-2.2	-3.8
関根浜	19.2	-0.8	-1.9	-2.4
尻 労	18.4	-1.0	-1.9	-1.7
泊	18.3	-1.3	-1.8	-3.1
八 戸	17.9	-1.0	-1.6	-2.6
階 上	18.8	-1.1	-1.4	-1.4
茂 浦	20.3	-0.2	-1.2	-2.9
平館ブイ	21.1	-0.8	-1.3	-1.9
青森ブイ	21.1	-0.3	-0.5	-1.9
東湾ブイ	20.4	-0.8	-1.1	-1.7
平均	19.8	-0.7	-1.5	-3.0

## 太平洋の海況 (9月25～28日)

概況；沿岸水温は19～20℃台

### ○太平洋沿岸域の表面水温

前回に比べ1度ほど降温し、前年同期と比べると1度ほど低い水温となっています。

### ○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

19℃等温線でみると東経143度15分付近までと、前回と比べ変わっていません。

### ○親潮系冷水の南下

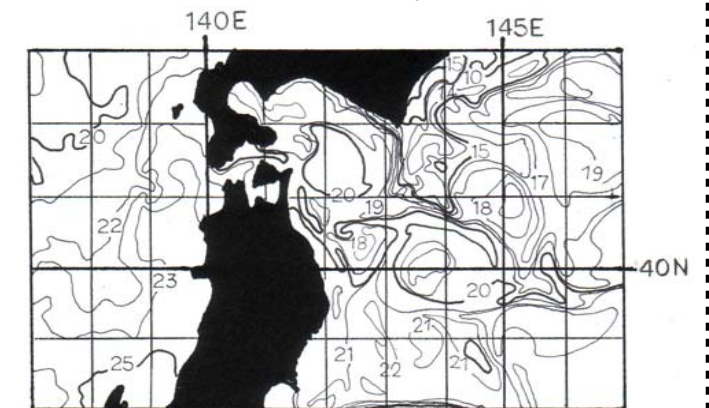
17℃等温線でみると北緯40度40分付近までと、前回より弱くなっています。

## 日本海の海況 (9月26～28日)

概況；沿岸水温は22～23℃台

### ○日本海沿岸域の表面水温

前回に比べ1度ほど降温し、前年同期と比べると1度ほど低い水温となっています。



資料：(社) 漁業情報サービスセンター  
北部太平洋海況情報 第52号 9月29日

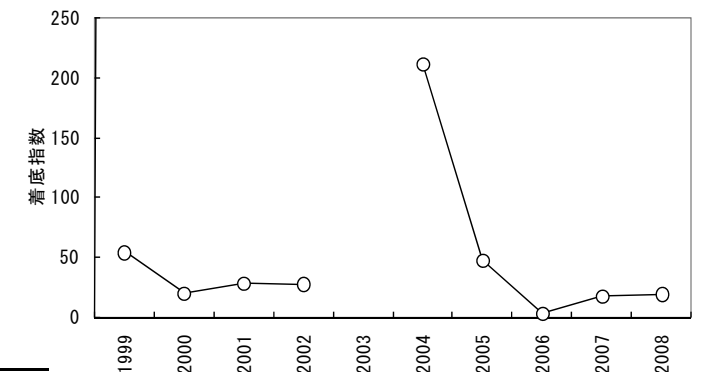


図2 太平洋のヒラメ着底指数の推移  
(着底指数：水深別平均分布密度(個体/1,000m<sup>2</sup>)の年最高値。桁網効率は0.28とした。)

## ◎ヒラメ稚魚分布密度調査結果 (太平洋) について

青森県水産総合研究センターでは1999年から天然ヒラメの稚魚分布密度調査を実施しています。今年も7月31日、9月4日、9月17日に太平洋の三沢市沖8点で桁網(水工研II型)を用いて調査を行いました(図1)。

今年度のヒラメの分布密度(桁網効率を0.28とした)は表1のとおりです。着底指数(水深別平均分布密度の年最高値)の推移を図2に示しました。

今年度の着底指数は昨年並みでした。

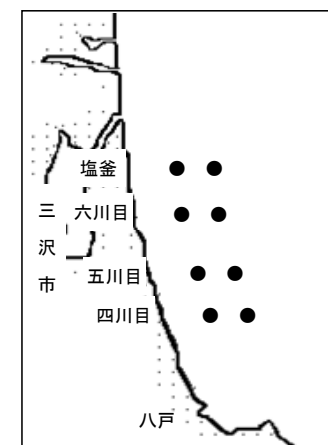


図1 調査点

表1 ヒラメ分布密度(個体/1,000m<sup>2</sup>)

調査日/場所	水深 5m				水深 10m			
	四川目	淋代	六川目	塩釜	四川目	淋代	六川目	塩釜
7月31日	5	8	11	18	9	16	14	17
9月4日	10	10	4	11	11	4	0	22
9月17日	21	18	14	9	8	28	28	11

## ◎第2回 太平洋スルメイカ長期漁況予報 (9月29日発表)

(独)水産総合研究センター北海道区水産研究所から太平洋におけるスルメイカ長期漁況予報が発表されました。

### ①津軽海峡～道南太平洋海域 (いか釣り、定置網)

- (1) 来遊量：2007年並みか下回る。
- (2) 漁期・漁場：10～12月まで漁場が形成される見込み。
- (3) 魚体：2007年よりも小型、11月は20～30cmが主体。

### ②道東太平洋海域 (いか釣り、定置網)

- (1) 来遊量：2007年並み。
- (2) 漁期・漁場：10月まで漁場が形成される見込み。
- (3) 魚体：2007年より小型、10月は19～23cmが主体。

### ③根室海峡周辺海域 (いか釣り、定置網)

- (1) 来遊量：2007年を下回る。
- (2) 漁期・漁場：11月が漁期の中心になる見込み。
- (3) 魚体：2007年よりも小型、11月では20～24cmが主体。

### ④常盤～三陸海域 (いか釣り、底曳網、定置網、まき網)

- (1) 来遊量：2007年を下回る。
- (2) 漁期・漁場：11月が漁期の中心になる見込み。
- (3) 魚体：2007年より小型、11月では20～24cmが主体。